

ソーシャル・サポート、地域のつながりと妊娠中の痛み —子どもの健康と環境に関する全国調査—

山田恵子

妊娠中の女性の約 20%以上が腰部・骨盤周囲の痛みや頭痛をもつことが報告されています。妊娠中の体の痛みは重要な健康問題ですが、あまり研究されていません。

個人的な人間関係や地域のつながりは社会関係資本(以下、ソーシャル・キャピタル)と呼ばれ、人々の健康にも影響することが知られています。ソーシャル・キャピタルは、社会的な支援(ソーシャル・サポート)と地域のつながりの2つの要素に分けられます。過去のいくつかの報告を元に考えると、ソーシャル・サポートが乏しいと心理的な苦痛をもたらし、体の痛みに影響する可能性があります。また、地域のつながりは個人の精神的な健康状態に影響することが知られています。ソーシャル・サポートの乏しさがもたらす心理的な苦痛に対して、地域のつながりが保護的に働くことが期待されます。

本研究では、妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさが、心理的な苦痛をもたらし、体の痛みに影響するかどうかを調べ、さらに、地域のつながりが、妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさがもたらす心理的苦痛や体の痛みを和らげるかどうかについても検討しました。その結果を専門誌に発表しました。(European Journal of Pain 誌 2021;25:872-885)

分析に必要な質問に全て回答した 94,517 妊娠を対象にしました。まず、妊娠第 2~3 期に実施した質問票調査より、ソーシャル・キャピタルに関する5項目の設問をもとに、主成分分析で妊娠中のソーシャル・サポート、地域のつながりに相当する2つの合成得点を計算しました。また、ケスラー心理的苦痛尺度(K6)、4週間以内に経験した痛みの強さを1~6点で回答する尺度(SF-8 の 1 項目)により、心理的苦痛と妊娠中の痛みを評価しました。

今回は妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさが心理的苦痛を介して体の痛みの強さに至る経緯について媒介モデルで検討しました。さらに、ソーシャル・サポートの乏しさがもたらす心理的苦痛に対して地域のつながりが保護的に働き、体の痛みを和らげる効果(調整効果)があるかについても検討しました。多変量解析を使用し、以下の想定された交絡因子の影響を統計学的方法で取り除きました。

【交絡因子】年齢、妊娠前の体型、妊娠中の喫煙、妊娠中の飲酒、妊娠中の身体活動、最終学歴、婚姻状態、等価所得、経産歴、睡眠の深さ、広汎性発達障害の可能性、リウマチ歴、過敏性腸症候群歴、片頭痛歴、うつ病歴、統合失調症歴、その他の精神疾患歴

➤ 結果

○ 妊娠中期女性の約2割に中等度以上の痛みがあった

妊娠第1期の 61.8%に軽度の痛み、第 2~3 期の 22.4%に中等度以上の痛みがありました。

○ 妊娠中のソーシャル・サポートが乏しいと体の痛みが強い

様々な交絡因子の影響を考慮したうえで、妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさは妊娠中の体の痛みの強さと関連する可能性が高いことがわかりました。**【図1上 A. 総合効果モデル】**

○ 妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさは心理的苦痛を介して体の痛みと関連する

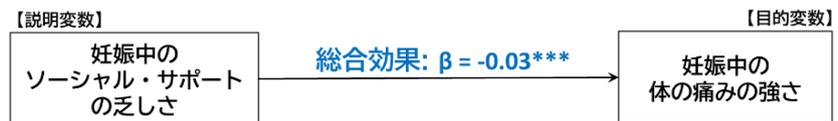
妊娠中のソーシャル・サポートが乏しいと、心理的苦痛の強さを介して妊娠中の体の痛みの強さに影響す

る可能性が高いことがわかりました(完全媒介)。【図1下 B. 媒介モデル】

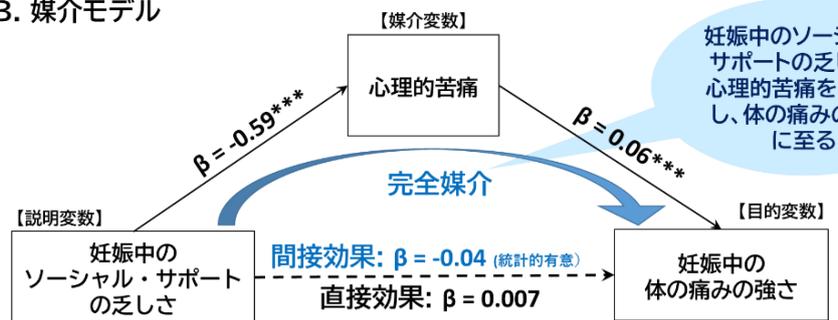
- 地域のつながりは、妊娠中のソーシャルサポートの乏しさがもたらす体の痛みをわずかに和らげる
地域のつながりが強いほど心理的苦痛が弱いことがわかりました。また、地域のつながりと妊娠中のソーシャル・サポートは交互作用をもち、それにより、地域のつながりは妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさがもたらす体の痛みをわずかに和らげる可能性があります。【図2 C. 調整媒介モデル】

図1. 妊娠中のソーシャル・サポートの体の痛みへの総合効果、および心理的苦痛の媒介効果の検討

A. 総合効果モデル



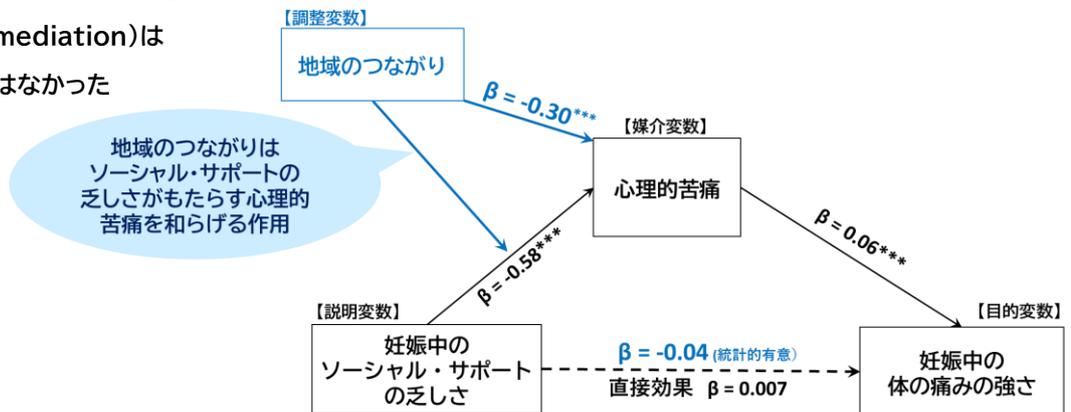
B. 媒介モデル



β = 偏回帰係数, ***p < 0.001

図2. 調整媒介モデルによる検討 (moderated mediation)は統計的に有意ではなかった

C. 調整媒介モデル



間接効果:
地域のつながり弱い β = -0.04 (統計的有意)
地域のつながり強い β = -0.03 (統計的有意)

β = 偏回帰係数, ***p < 0.001.

※媒介モデルに対して「地域のつながり」が調整変数として作用するかどうかを検定する調整媒介指標 (index of moderated mediation)は値が0.006と小さいが統計的に有意であった

○ この研究の意義

本研究から、妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさは心理的苦痛を介して、妊娠中の体の痛みの強さに影響する可能性が高いことがわかりました。さらに、地域のつながりは妊娠中のソーシャル・サポートの乏しさがもたらす心理的苦痛を和らげ、全体としてわずかに体の痛みの強さを和らげる可能性があることが世界で初めてわかりました。妊娠中の女性の健康にとって、ソーシャル・サポートや地域のつながりは重要な要素であるといえます。